

上新電機オーディオ試聴会 (2016.6.12)

—アナログの試聴会—

1. はじめに

上新電機日本橋 1 ばん館で開催されたメース主催ヨーロッパアンサウンド&アナログレコード試聴会に行ってきました。アコースティックソリッドのアナログプレイヤーと、ミリヤードのアンプと CD プレイヤー、ハーベスのスピーカー3 機種 of の組み合わせでヨーロッパサウンドを聴かせてくれるという催しです。

2. 使用機器

使用機器は以下のラインアップです。

アナログプレイヤー：アコースティックソリッド 113

プリメインアンプ：ミリヤード Z240

CD プレイヤー：ミリヤード Z210

スピーカー：ハーベス HL-5 Plus

Monitor HL 30.1

HL-P3ESR



当日のセッティング

3. 試聴会の進行

最初に使用機器の説明があった後、アナログの試聴に入りました。スピーカーは HL-P3ESR で、カートリッジは Ortofon の 2M Bronze という MM 型でミリヤード Z240 の MM フォノ入力端子に入力し、アンプ内蔵フォノイコで再生しています。女性ボーカル、チョン・キョン・ファ/ロンドンのウォルトンの V 協、ジャズと聴いていきましたが、女性ボーカルとジャズはナチュラルで軽く弾んだ聴きやすい音でしたが、チョン・キョン・ファのヴァイオリンは艶が不足し、もう少し倍音の乗りが

欲しいところでした。

スピーカーを **Monitor HL 30.1** に替え、先程のジャズとポール・マッカートニー、ハンター、J ポップスを聴いていきましたが、**HL-P3ESR** に比べ、モニターらしい精度の良い音で、さらにナチュラルな音に仕上がってきました。

さらにスピーカーを **HL-5 Plus** に替えて同じ J ポップスを聴いてみますとスケール感や表現力が一段とアップしました。

この後、参加者持参のアナログ盤も加えて、幻想交響曲、リヒテルのピアノ、J ポップス、ワーグナー、ファリヤの三角帽子、ハリー・ベラフォンテなどが続きましたが、オーケストラの弦が乾き気味な他は、リヒテルの NY スタンウェイ、ファリヤの三角帽子も聴きごたえがありました。

最後にミリヤード **Z210** でラフマニノフのヴォーカリーズの CD を聴いて終わりになりましたが、この CD プレイヤーもしつとりと聴かせるものでした。

4. まとめ

クラシックには **MM** 型カートリッジの限界みたいなものを感じましたが、ハーベスのスピーカーの良さは十分に認識できました。**HL-5 Plus** のスケール感、表現力は最近聴いた中では最上のものですが、モニターらしい精度の良い音の **Monitor HL 30.1** も捨てがたい魅力があります。ミリヤードのアンプと CD プレイヤーは機能を絞ってはいますが、音質的にはコストパフォーマンスの高い製品と感じました。

以上